

## 特集「“知財”を超える」の企画にあたって

会誌広報委員会\*

近年、多くの分野で産業構造の転換が起こっており、これに伴い知財業務の対象範囲が広がってきています。具体的には、主に知的財産権という権利の取得・維持・管理・活用といった従来からの知財業務に加え、人材、データ、顧客とのネットワーク等の知的資産の活用に向けた業務をも含むようになり、知財の概念は時代とともに大きく変化してきています。

日本は、第4次産業革命の第1幕「ネット上のデータ競争」において、GAFABAやBATといったプラットフォームの出現により、バーチャルデータの覇権争いでは、残念ながら米中に大きく水をあけられてしまいました。また、GDPの側面から見ても、かつての日米欧の三極中心だった世界経済は、米中の二強時代へと変化し、日本は世界の中で存在感が低下しています。このような現状には、政府・各企業ともに大きな危機感を抱き、既に始まっている第4次産業革命の第2幕「リアルな世界のデータ」の競争では主導権を握るべく、知的資産の利活用と保護の取り組みに力を入れています<sup>1)</sup>。

そこで、2020年特集号では、明確な答えを持たない近い将来の課題も含め、従来の知財の概念を超えた特集とすべく、テーマを「“知財”を超える」と設定しました。本テーマでは、第1部として拡がりゆく“知財”を取り巻く最新事情をビジネス・経済・経営の視点を取り入れて論じて頂きました。第2部では、海外の活動や動向にも焦点を当て、グローバルな視点から日本が取り組むべき課題や方向性を提示頂きました。そして第3部では、スタートアップ企業ならではのマインド、深層学習などの注目分野における日本企業の挑戦、標準化に整合する知財戦略等、激化する競争の中で日本が勝ち残っていくために参考となる有益な情報を論じて頂きました。本誌を活かして頂くことで、会員企業の事業が益々発展することを願っております。

### 第1部 変革期の知財

#### (1) 特許の歴史から学ぶデジタル新時代の知的財産活動

産業革命と特許の歴史を世界的に振り返り、デジタル新時代における知的財産活動の課題と、それを踏まえたこれからの日本企業の知的財産活動について論じられております。

#### (2) 産業変革時代の企業経営と知財戦略—直面する社会構造転換を企業経営と知財から考える—

SDGs等の社会課題が注目される理由と、IoT、ビッグデータ、AIを要素とするプラットフォームシステムを活用するビジネス起点の発想の重要性について解説頂いております。

\* 2019年度 Publication and Public Affairs Committee

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

### (3) デジタル社会の進展と地政学的変化による知財を取り巻く現状の変化と将来予測

米中の政策と、米中経済デカップリングが日本経済に与える影響を解説し、将来予測に基づいて日本企業の知財戦略の方向性について提言頂いております。

### (4) モビリティ革命の現在地と知財活動

自動車産業構造の変化の過程で、知財部門の役割や知財プロとしての個人の意識をいかに変えていくべきか、イノベーションを支える知財制度はどうあるべきかについて論じられております。

## 第2部 海外から学ぶ

### (5) シリコンバレーをありのままに理解しよう

イノベーションを生み出し続けているシリコンバレーの現状を紹介頂き、駐在経験を基に、日本の課題とその解決策について提言頂いております。

### (6) 深センのイノベーションエコシステム—3つのルーツとその融合—

深センにおけるイノベーション発展のルーツと隆盛について解説頂き、日本企業がイノベーションにどのように取り組むとよいかについて提言頂いております。

### (7) 世界のイノベーションを支えるインドとの連携可能性—ベンガルールを中心に—

インドのスタートアップの現状と日印政府の取り組みを紹介し、これからインドへの進出・連携を考えている企業にとって必要な姿勢について提言頂いております。

### (8) イスラエルのIT系ベンチャーと日本企業が協業するために

イスラエルに関する基本的な情報から、経済、ベンチャー企業が次々と生まれる背景やIT企業各分野の最新動向について解説頂いております。

### (9) イスラエルのバイオ系ベンチャーとの協業の在り方

イスラエル現地での経験に基づいた、イスラエルのベンチャー企業と日本企業が協業するにあたっての留意事項について解説頂いております。

## 第3部 日本の挑戦

### (10) Society 5.0時代のビジネスエコシステムと知財戦略

標準化戦略と同時に必要な知財戦略として、オープン&クローズ戦略とそれを補完する戦略について具体的なケーススタディを交えながら解説頂いております。

### (11) 深層学習と知財—技術とビジネスの観点から—

深層学習をめぐる知財権の現状紹介と、深層学習をコア技術にしたスタートアップ企業がどうビジネス戦略を考えるかを知財・技術競争力・人材の観点から提言頂いております。

### (12) 医薬・バイオ系スタートアップにおける知財法務関連業務と必要とされる人材及び働き方

医薬・バイオ系スタートアップの最新動向、知財戦略や課題を紹介し、特に起業時に必要とされる人材、業務、働き方について提言頂いております。

注記1) 経済産業省『第四次産業革命に向けた横断的的制度研究会 報告書』